



巨大紙芝居&エプロンシアターで 憩いのひととき

伊吹薬草の里文化センター(ジョイいぶき)図書館にて



広報

こほくかい

夏

号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)
○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行者／赤井耕太郎
○発行日／2019年8月1日

6月17日に開催されました、評議員会・理事会で新しい理事・監事が選任されましたので、ご報告致します。

社会福祉法人湖北会 役員・評議員 名簿

(理事・監事任期:2019年6月17日～2021年に開催する2020年度のものに関する定時評議員会の終結まで)
(評議員任期:2017年4月1日～2021年に開催する2020年度のものに関する定時評議員会の終結まで)

2019年6月17日《順不同:敬称略》

役職名	氏名	役職名	氏名
《理事:定員6名/現員6名》		《評議員:定員7名/現員7名》	
理事長	赤井 耕太郎	評議員	尾木 義比己
常務理事	北野 憲一	評議員	川合 行雄
理事	高宮 弘子	評議員	森田 英子
理事	中川 秀子	評議員	廣部 智子
理事	嶋崎 雅之	評議員	伊吹 学
理事	山崎 悦司	評議員	廣田 加代子
《監事:定員2名/現員2名》		評議員	高木 ひとみ
監事	大塚 浩司		
監事	西村 みち子		

理事長就任の挨拶

社会福祉法人湖北会 理事長 赤井耕太郎

この度6月の定例評議員会におきまして、新役員を選任していただきました。その後の理事会において、体調を整えたいと辞意を表明されておりました前理事長に代わり、理事長に選任されました。私自身80歳と高齢であり、短期間になるかと思いますが、選任された以上は、理事長という重責を果たしてまいりたいと考えております。

今、湖北会は、「湖北まこも」の建て替えに全力を注がなければなりません、他の施設においても順次建て替え、改修を進めていかなければなりません。

もっとも大切な利用者支援については、利用者の重度・高齢者への対応が急務となっております。その他、人材確保・育成、地域貢献等様々な法人の課題に対して、法人一丸となって取り組んでまいりますので、これまで同様に関係各位のご理解ご協力をお願い申し上げ、理事長就任の挨拶とさせていただきます。

湖北まこも 家族旅行

6月22日(土) 今年も2班に分かれて家族旅行に行ってきました。

京都太秦映画村(アクティブ班)



アクティブ班は太秦映画村に到着後、大名御膳を食べ、時代劇に登場してくる人にあたり、江戸時代の建物を見学したり、楽しいひと時を過ごされました。

京都水族館(ゆったり班)



ゆったり班は、八つ橋庵とししゅうやかたで、せいろ蒸し御膳を頂きました。「美味しい」と評判もよく、会話も弾みました。水族館では、いろんな魚やペンギンなどをゆっくりと見て回られていました。

ワークスさぼてん

「就労定着支援事業開始」

2019年4月1日より1名の方がフジテック株式会社様へ就職されました。今年で3年連続、ワークスさぼてんより就職者を輩出しています。一般就労された方が長く職場定着できるように新たな「就労定着支援」事業を2019年5月1日より滋賀県より指定を受け事業を開始することになりました。就職することがゴールでなく長く職場定着できるように関わっていきたいと考えています。

(厚生労働省ホームページより)

就労定着支援の概要

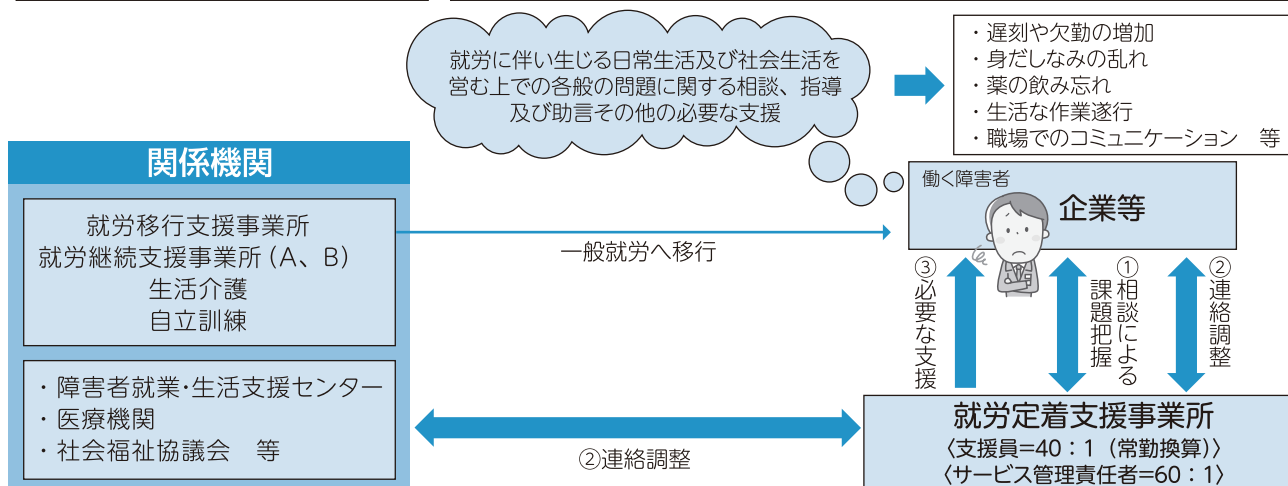
○就労移行支援等を利用し、一般就労に移行し障害者の就労に伴う日常生活及び社会生活上の支援ニーズ対応できるよう、事業・家族との連絡調整等の支援を一定の機関(最大3年間)にわたり行うサービス(「就労定着支援」)を新たに創設する。

対象者

- 就労移行支援、就労継続支援、生活介護、自立訓練の利用を経て一般就労へ移行した障害者で、就労に伴う環境変化により生活面・就業面の課題が生じている者
- 一般就労後6月を経過した者

支援内容

- 障害者との相談を通じて日常生活面及び社会生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施。
※利用者の自宅・企業等を訪問することにより、月1回以上は障害者との対面支援を行うとともに、月1回以上は企業訪問を行うよう努めることとする。
- 利用期間は3年を上限であるが、就労定着支援事業所での支援を継続することも可能。支援を終了する場合は、必要に応じて障害者就業・生活支援センター等へ引き継ぐ。



いぶきやま

図書館イベント「読み聞かせ」参加

米原市を中心に活動されている「夢のつばさ」というお話ボランティアグループが主催されている読み聞かせに、2ヶ月に一回ライフまいばらといぶきやま合同で参加させてもらっています。巨大紙芝居やエプロンシアターなどをわかりやすくしていただき、利用者さんはもちろん、職員も毎回楽しませていただいています。帰り際には折り紙などで作ったすてきなプレゼントもいただき、皆さん大満足な様子でした。



社会福祉法人 湖北会家族会の設立

昨年度後期より、湖北会各事業所家族会の代表者が集まり、湖北会の全体家族会の設立について協議が行われてきました。

そしてこの度、2019年6月22日に社会福祉法人湖北会家族会の設立総会が開催され、湖北会が経営する諸施設ならびに諸事業の健全かつ積極的な運営に家族の立場から貢献し、社会福祉の向上に寄与することを目的として設立となりました。

湖北会家族会設立について(挨拶)

2019年度 湖北会初代家族会会長 藤田 吉治

ご存知の方もおられると思いますが、皆様初めまして。湖北会やまぶきで子どもがお世話になっています藤田吉治と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、6月22日の総会にて湖北会家族会が発足されました。それに伴い2019年度湖北会家族会の会長に就任いたしました。この業界、どの法人もみな同じだと思いますが、湖北会も大なり小なり様々な問題を抱えていることと思います。これに対し法人や職員だけではなく我々家族もこの問題の解決方法を一緒に考えていくべきではないでしょうか。

この、湖北会家族会はそういった意味で『一歩先に』踏み出すことができたのではないかと思います。この一歩が道となり私たちの子どものより良い未来につながりますように、よろしくお願いいたします。

新顔登場

『新人職員紹介』

おおくら けんた
大倉 健太

●所 属

あそしあ

●趣 味

音楽鑑賞、弾き語り



日々、職員の方や利用者様から多くを学び、成長していきたいと思っています。利用者様の心に寄り添った支援をしていきたいと思っています。分からない事ばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。

湖北会後援会への入会と寄付のお願い

2019年6月22日(土)、湖北会後援会の総会を開催。

平成30年度は、加入依頼の活動から個人319名、寄付者1団体と会員の輪が広がり、法人ならびに事業所に518,077円の助成を行なうことができました。ご支援、誠にありがとうございました。

今年度は役員の改選も行われ、新しい役員の方々を中心に、引き続き入会の継続、新しい方への誘いを勧め、少しでも会員の輪を広げていきたいと考えています。

皆さまのご支援、ご協力をお願い致します。

1. 寄付金 個人会員 一口 1,000円
団体会員 一口 5,000円

郵便振替口座 00950-8-232378
名義 社会福祉法人湖北会後援会

シリーズ おすすめスポット vol.18

早崎内湖ビオトープ

今回ご紹介するお勧めスポットは、長浜市早崎町にある「ビオトープ」です。

北陸自動車道長浜ICから車で15分、JRの最寄り駅の虎姫駅または河毛駅から車で15分の湖周道路沿いにあります。湖北まこもから、徒歩すぐのところですよ。

「早崎内湖ビオトープ」は、干拓田の4分の1を灌水し調査を行っている、日本最大のビオトープ実験地です。ビオトープとはドイツ語で「地域の野生生物の生息空間」という意味があるそうです。ビオトープ実験調査がはじまってから、コハクチョウが年々増え現在では滋賀県で有数の飛来地となっています。

また、今の季節は蓮の花が大変見ごろで、多くの人が訪ねて来られています。

蓮の花は早朝開き、お昼前には閉じてしまいます。朝には水面一面に蓮の花が開きます。ぜひ早起きをして、蓮の花が開く時間にお越しください。

※車でのお越しの際、湖北まこもの駐車場をご利用ください。ビオトープ回りの約1.5kmの散歩をお楽しみ下さい。見る角度によって、さまざまな絵が楽しめます。



湖北まこもです

★早崎内湖ビオトープ



法人単位資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予 算(A)	決 算(B)	差 異(A)-(B)
就労支援事業収入	62,765,000	53,220,574	9,544,426
下請事業収入	28,151,000	23,529,842	4,621,158
自主事業収入	16,921,000	15,886,226	1,034,774
委託事業収入	17,693,000	13,804,506	3,888,494
障害福祉サービス等事業収入	1,396,738,000	1,395,754,022	983,978
自立支援費給付費収入	1,170,425,000	1,169,595,251	829,749
障害児施設給付費収入	25,312,000	25,312,260	△ 260
利用者負担金収入	1,147,000	1,151,908	△ 4,908
補足給付費収入	15,693,000	15,694,372	△ 1,372
特定費用収入	100,053,000	99,897,436	155,564
その他の事業収入	84,108,000	84,102,795	5,205
経常経費寄附金収入	1,320,000	1,320,077	△ 77
受取利息配当金収入	55,000	71,481	△ 16,481
その他の収入	27,469,000	27,472,083	△ 3,083
事業活動収入計 (1)	1,488,347,000	1,477,838,237	10,508,763
人件費支出	974,174,000	975,155,944	△ 981,944
事業費支出	161,909,000	161,468,011	440,989
事務費支出	150,472,000	148,885,885	1,586,115
就労支援事業支出	56,255,000	53,264,072	2,990,928
就労支援事業販売原価支出	25,065,000	18,001,367	7,063,633
就労支援事業販管費支出	31,190,000	35,262,705	△ 4,072,705
支払利息支出	1,820,000	1,816,662	3,338
その他の支出	8,488,000	8,433,452	54,548
事業活動支出計 (2)	1,353,118,000	1,349,024,026	4,093,974
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	135,229,000	128,814,211	6,414,789
施設整備等補助金収入	6,455,000	6,455,000	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
固定資産売却収入	2,588,000	2,588,000	0
その他の施設整備等による収入	8,619,000	8,618,400	600
施設整備等収入計 (4)	17,662,000	17,661,400	600
設備資金借入金元金償還支出	16,561,000	16,561,000	0
固定資産取得支出	25,086,000	25,081,004	4,996
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,150,000	1,149,120	880
施設整備等支出計 (5)	42,797,000	42,791,124	5,876
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 25,135,000	△ 25,129,724	△ 5,276
積立資産取崩収入	1,445,089	1,445,089	0
その他の活動による収入	795,000	786,720	8,280
その他の活動収入計(7)	2,240,089	2,231,809	8,280
積立資産支出	99,190,504	99,181,181	9,323
その他活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	99,190,504	99,181,181	9,323
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 96,950,415	△ 96,949,372	△ 1,043
予備費支出 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,143,585	6,735,115	6,408,470
前期末支払資金残高(12)	601,043,033	545,343,892	55,699,141
当期末支払資金残高(11)+(12)	614,186,618	552,079,007	62,107,611

法人単位事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減(A)-(B)
就労支援事業収益	53,220,574	55,228,510	△ 2,007,936
下請事業収益	23,529,842	23,073,315	456,527
自主事業収益	15,886,226	16,053,493	△ 167,267
委託事業収益	13,804,506	16,101,702	△ 2,297,196
障害福祉サービス等事業収益	1,395,754,022	1,383,481,521	12,272,501
自立支援給付費収益	1,169,595,251	1,156,120,954	13,474,297
障害児施設給付費収益	25,312,260	28,802,418	△ 3,490,158
利用者負担金収益	1,151,908	1,043,616	108,292
補足給付費収益	15,694,372	15,887,473	△ 193,101
特定費用収益	99,897,436	98,997,262	900,174
その他の事業収益	84,102,795	82,629,798	1,472,997
経常経費寄附金収益	1,320,077	3,370,034	△ 2,049,957
サービス活動収益計 (1)	1,450,294,673	1,442,080,065	8,214,608
人件費	981,267,794	949,446,462	31,821,332
事業費	161,468,011	160,306,769	1,161,242
事務費	148,885,885	152,189,186	△ 3,303,301
就労支援事業費用	53,437,495	56,274,087	△ 2,836,592
就労支援事業販売原価	18,090,268	17,076,703	1,013,565
就労支援事業販管費	35,347,227	39,197,384	△ 3,850,157
減価償却費	81,817,362	86,004,621	△ 4,187,259
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 30,632,237	△ 34,145,752	3,513,515
サービス活動費用計 (2)	1,396,244,310	1,370,075,373	26,168,937
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	54,050,363	72,004,692	△ 17,954,329
受取利息配当金収益	71,481	38,381	33,100
その他のサービス活動外収益	27,472,083	15,222,128	12,249,955
サービス活動外収益計 (4)	27,543,564	15,260,509	12,283,055
支払利息	1,816,662	2,025,659	△ 208,997
サービス活動外費用	8,433,452	9,149,841	△ 716,389
サービス活動外費用計 (5)	10,250,114	11,175,500	△ 925,386
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	17,293,450	4,085,009	13,208,441
経常増減差額(7)=(3)+(6)	71,343,813	76,089,701	△ 4,745,888
施設整備等補助金収益	6,455,000	6,555,000	△ 100,000
施設整備等寄附金収益	0	1,153,374	△ 1,153,374
固定資産売却益	2,587,992	44,006	2,543,986
特別収益計(8)	9,042,992	7,752,380	1,290,612
固定資産売却損・処分損	14	5,696,813	△ 5,696,799
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△ 5,397,950	5,397,950
国庫補助金等特別積立金積立額	1,840,000	1,940,000	△ 100,000
その他の特別損失	0	0	0
特別費用計(9)	1,840,014	2,238,863	△ 398,849
特別増減差額(10)=(8)-(9)	7,202,978	5,513,517	1,689,461
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	78,546,791	81,603,218	△ 3,056,427
前期繰越活動増減額(12)	779,286,790	782,059,531	△ 2,772,741
当期末繰越活動増減額(13)=(11)+(12)	857,833,581	863,662,749	△ 5,829,168
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他積立金取崩額(15)	1,445,089	1,572,610	△ 127,521
その他積立金積立額(16)	91,698,581	85,948,569	5,750,012
次期繰越金活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	767,580,089	779,286,790	△ 11,706,701

法人単位貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	633,778,309	616,979,223	16,799,086	流動負債	147,021,476	136,515,674	10,505,802
現金預金	361,861,802	349,605,596	12,256,206	事業未払金	66,447,332	57,315,970	9,131,362
事業未収金	240,579,508	235,519,181	5,060,327	1年以内返済予定設備資金借入金	16,561,000	16,561,000	0
未収金	429,512	296,834	132,678	1年以内返済予定リース債務	1,723,680	0	1,723,680
未収補助金			0	預り金	11,564,609	10,689,039	875,570
商品・製品	121,680	125,335	△ 3,655	職員預り金	1,365,481	1,219,541	145,940
原材料	2,200,200	2,285,446	△ 85,246	賞与引当金	49,359,374	50,730,124	△ 1,370,750
立替金	28,478,607	29,116,831	△ 638,224				
前払費用	0	0	0				
仮払金	107,000	30,000	77,000				
固定資産	2,373,312,098	2,334,423,850	38,888,248	固定負債	244,878,210	249,254,210	△ 4,376,000
基本財産	1,488,683,958	1,545,989,780	△ 57,305,822	設備資金借入金	147,413,000	163,974,000	△ 16,561,000
土地	13,100,000	13,100,000	0	リース債務	5,745,600	0	5,745,600
建物	1,394,583,958	1,451,889,780	△ 57,305,822	退職給与引当金	91,719,610	85,280,210	6,439,400
定期預金	81,000,000	81,000,000	0				
その他の固定資産	884,628,140	788,434,070	96,194,070	負債の部合計	391,899,686	385,769,884	6,129,802
建物	75,583,441	80,112,400	△ 4,528,959	純 資 産 の 部			
構築物	17,628,064	20,116,663	△ 2,488,599		当年度末	前年度末	増減
機械及び装置	731,110	374,975	356,135	基本金	463,338,423	463,338,423	0
車輛運搬具	37,405,976	39,266,816	△ 1,860,840	基本金	463,338,423	463,338,423	0
器具及び備品	20,429,416	19,067,378	1,362,038				
建設仮勘定	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	753,319,967	782,309,226	△ 28,989,259
有形リース資産	5,700,240	0	5,700,240	国庫補助金等特別積立金	753,319,967	782,309,226	△ 28,989,259
無形リース資産	1,769,040	0	1,769,040				
ソフトウェア	0	0	0	その他の積立金	630,952,242	540,698,750	90,253,492
投資有価証券	50,000	50,000	0	工賃変動積立金	9,293,448	9,022,931	270,517
退職共済預け金	91,719,610	85,280,210	6,439,400	設備等整備積立金	1,134,744	1,405,846	△ 271,102
工賃変動積立預金	9,293,448	9,022,931	270,517	人件費積立金	52,504,357	52,504,357	0
設備等整備積立預金	1,134,744	1,405,846	△ 271,102	修繕費積立金	505,326,635	415,326,635	90,000,000
人件費積立預金	52,504,357	52,504,357	0	備品購入積立金	62,693,058	62,438,981	254,077
修繕費積立預金	505,326,635	415,326,635	90,000,000				
備品購入積立預金	62,693,058	62,438,981	254,077	次期繰越活動収支差額	767,580,089	779,286,790	△ 11,706,701
長期前払費用	2,360,160	3,146,880	△ 786,720	(うち当期活動収支差額)	78,546,791	81,603,218	△ 3,056,427
その他固定資産	298,841	319,998	△ 21,157	純資産の部合計	2,615,190,721	2,565,633,189	49,557,532
資産の部合計	3,007,090,407	2,951,403,073	55,687,334	負債及び純資産の部合計	3,007,090,407	2,951,403,073	55,687,334

法人単位資金収支予算書

【2019年度 当初予算】

(単位:円)

	予算額	前年度予算額(当初)	差引増減額
就労支援事業収入	56,770,000	62,765,000	△ 5,995,000
下請事業収入	28,236,000	28,151,000	85,000
自主事業収入	14,345,000	16,921,000	△ 2,576,000
受託事業収入	14,189,000	17,693,000	△ 3,504,000
障害福祉サービス等事業収入	1,390,820,000	1,396,738,000	△ 5,918,000
自立支援給付費収入	1,169,212,000	1,170,425,000	△ 1,213,000
障害児施設給付費収入	24,900,000	25,312,000	△ 412,000
利用者負担金収入	969,000	1,147,000	△ 178,000
補足給付費収入	15,610,000	15,693,000	△ 83,000
特定費用収入	99,063,000	100,053,000	△ 990,000
その他の事業収入	81,066,000	84,108,000	△ 3,042,000
経常経費寄附金収入	0	1,320,000	△ 1,320,000
受取利息配当金収入	51,000	55,000	△ 4,000
その他の収入	10,887,000	27,469,000	△ 16,582,000
事業活動収入計 (1)	1,458,528,000	1,488,347,000	△ 29,819,000
人件費支出	987,348,000	974,174,000	13,174,000
事業費支出	163,899,000	161,909,000	1,990,000
事務費支出	151,127,000	150,472,000	655,000
就労支援事業支出	56,770,000	56,255,000	515,000
就労支援事業販売原価支出	26,800,000	25,065,000	1,735,000
就労支援事業販管費支出	29,970,000	31,190,000	△ 1,220,000
支払利息支出	1,628,000	1,820,000	△ 192,000
その他の支出	8,845,000	8,488,000	357,000
事業活動支出計 (2)	1,369,617,000	1,353,118,000	16,499,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	88,911,000	135,229,000	△ 46,318,000
施設整備等補助金収入	4,615,000	6,455,000	△ 1,840,000
固定資産売却収入	0	2,588,000	△ 2,588,000
その他の施設整備等による収入	0	8,619,000	△ 8,619,000
施設整備等収入計 (4)	4,615,000	17,662,000	△ 13,047,000
設備資金借入金元金償還支出	16,561,000	16,561,000	0
固定資産取得支出	16,035,000	25,086,000	△ 9,051,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,724,000	1,150,000	574,000
施設整備等支出計 (5)	34,320,000	42,797,000	△ 8,477,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 29,705,000	△ 25,135,000	△ 4,570,000
積立資産取崩収入	0	1,445,089	△ 1,445,089
その他の活動による収入	795,000	795,000	0
その他の活動収入計 (7)	795,000	2,240,089	△ 1,445,089
積立資産支出	7,927,000	99,190,504	△ 91,263,504
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0
その他の活動支出計(8)	7,927,000	99,190,504	△ 91,263,504
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 7,132,000	△ 96,950,415	89,818,415
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	52,074,000	13,143,585	38,930,415
前期末支払資金残高(12)	614,186,000	601,043,033	13,142,967
当期末支払資金残高(11)+(12)	666,260,000	614,186,618	52,073,382

編集後記

先日、朝方(4:30頃)だったと思いますが、寝ていたところ急に^{ふくらはぎ}脹脛がつってしまい、あまりの痛みに目が覚めてしまいました。違和感を感じながら出勤し、看護師に聞いたところ、原因は足を使ったか、脱水か、足が冷えたかだそうです。真夏のような暑さではなかったものの、午前中、駐車場内を歩き回っていたのですが、水分補給をしなかったのが原因だったのかと思われます。これからますます厳しい暑さがやってきます。寝ている間でも脱水になることもあるようです。またあの時の痛みを繰り返さないためにも、こまめに水分を補給し熱中症予防に心がけたいものです。

編集委員 山崎